

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスコロネット		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども理解と支援の質に関する強み 事業所の強みは、日々の関わりを通して子ども一人ひとりを丁寧に理解し、発達段階や気持ちに応じた支援を行っている点です。安心して過ごせる環境づくりを基盤に、主体性や自信を育む支援を大切にしています。	子どもへの関わり・環境づくりの工夫 子ども一人ひとりの様子や変化を丁寧に捉え、気持ちに寄り添った関わりを心がけています。安心して自分らしく過ごせる環境を整え、小さな達成感を大切に支援を意識しています。	個別支援のさらなる質の向上 子ども一人ひとりの成長過程を丁寧に分析し、支援内容の見直しを定期的に行います。記録の活用と振り返りを充実させ、根拠に基づいた支援の実践と質の向上を図ります。
2	チームワーク・職員体制に関する強み 事業所の強みは、職員間での情報共有や相談が活発で、チームとして支援に取り組んでいる点です。日常的な声かけや連携により、子どもたちの変化を見逃さず、安定した支援につなげています。	職員間の連携・体制づくりの工夫 日々の申し送りやミーティングを通して情報共有を行い、共通理解を深めています。職員同士が意見を出し合える雰囲気づくりを大切に、チームとして安定した支援につなげています。	組織力向上と人材育成の強化 職員研修や事例検討の機会を増やし、専門性の向上を目指します。日常的な対話と相互理解を大切にし、チームとしての連携力を一層高めていきます。
3	活動内容・体験機会に関する強み 事業所の強みは、日常活動に加え、季節や社会資源を活かした体験活動を計画的に実施している点です。外出行事や特別プログラムを通して、楽しみながら経験の幅を広げ、意欲や社会性の育成を支援しています。	活動内容・安全面での工夫 行事や長期休みの活動では、子どもたちの興味や成長段階に応じた内容を検討しています。事前準備や安全確認を徹底し、職員間で役割を共有することで、安心して参加できる体制を整えています。	長期休みの特別プログラムをさらに充実させるため、子どもたちの興味や成長に合わせた多様な体験活動を企画します。また、保護者や子どもたちの意見を取り入れ、より魅力的で意義のあるプログラムづくりを目指します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携に関する課題 地域資源とのつながりが十分とは言えず、交流機会が限られている点が課題です。関係機関との協力体制を広げ、子どもたちが地域の中で多様な経験を積める機会を増やしていく必要があります。	地域連携が進みにくい要因 地域や児童館との交流については、日々の業務との調整が難しく、十分な時間を確保できていないことが一因と考えています。また、連携を計画的に進める体制づくりがこれからの課題です。	地域連携に向けた取組 地域や児童館とのつながりを広げていくため、定期的な連絡や情報交換の機会を大切にしています。無理のない形から共同活動を検討し、地域との関係づくりを少しずつ深めたいと考えています。
2	非常時対応体制の課題 災害や緊急時を想定した体制整備が十分とは言えない状況です。対応手順の再確認や実践的な訓練を重ね、職員全体の危機管理意識と対応力の向上を図ることが求められます。	非常時対応体制に関する要因 緊急時対応については、実践的な訓練の機会やマニュアルの共有をさらに充実させていく必要があります。職員間での意識の統一を図りながら、少しずつ体制を整えていきたいと考えています。	非常時対応強化に向けた取組 緊急時に落ち着いて対応できるよう、避難訓練や想定訓練を継続的に行います。あわせて、マニュアルの確認や共有を丁寧に、職員全体で安心・安全を守る体制づくりを進めていきます。
3			